



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場会社名 日本タングステン株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 6998 URL <http://www.nittan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 後藤 信志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大島 正信 (TEL) (092)415-5500
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,850	△14.6	225	△5.6	192	△40.3	98	△58.6
28年3月期第2四半期	5,682	△0.2	238	186.3	323	210.7	237	221.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △35百万円(—%) 28年3月期第2四半期 173百万円(51.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	4.08	4.04
28年3月期第2四半期	9.67	9.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,029	8,496	60.3
28年3月期	14,777	8,652	58.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,459百万円 28年3月期 8,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
29年3月期	—	2.00			
29年3月期(予想)			—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,850	△10.6	360	△47.0	360	△54.7	190	△70.8	7.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 上海電科電工材料有限公司

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	25,777,600株	28年3月期	25,777,600株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,724,081株	28年3月期	1,723,441株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	24,053,726株	28年3月期2Q	24,510,846株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、海外では、米国経済が個人消費を中心に底堅く推移しましたが、中国経済は不透明な状況が続きました。一方、国内では、円高の進行等により企業業績は伸び悩む中で、全体として横ばいで推移しました。

このような中、当社グループの売上高は、機械部品事業及び電機部品事業ともに前年同四半期を下回るなど低調に推移し、前年同四半期比14.6%減の48億5千万円となりました。

損益面では、原価低減活動を継続して行い、また、原材料価格の低下による増益要因もありましたが、売上高の減少によるマイナス分をカバーするまでには至らず、営業利益は、前年同四半期比5.6%減の2億2千5百万円となりました。経常利益は、為替差損の計上等により、前年同四半期比40.3%減の1億9千2百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比58.6%減の9千8百万円となりました。

セグメント別の状況については次のとおりです。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しております。当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細については、「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご覧ください。

(機械部品事業)

衛生用品関連のNTダイカッターが国内、海外市場ともに好調で増収となりましたが、情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板はパソコン需要の縮小等によりHDD市場が低迷し減収となり、装置関連も海外市場で減収となりました。

この結果、機械部品事業の売上高は前年同四半期比22.2%減の25億8千1百万円となり、営業利益は同38.3%減の2億7千6百万円となりました。

(電機部品事業)

自動車関連の電極製品が海外向けで増加しましたが、照明関連のタングステンワイヤーがLED化の進展等により減収となりました。

この結果、電機部品事業の売上高は前年同四半期比4.1%減の22億8千6百万円となりましたが、前期に実施した構造改善の効果等により営業利益は前年同四半期の5百万円から1億3千6百万円に増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、140億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億4千7百万円減少しました。内訳は、流動資産が前連結会計年度末と比較して6億2千2百万円減少し73億1千6百万円となり、固定資産は同じく1億2千4百万円減少し、67億1千3百万円となりました。

負債は、55億3千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億9千1百万円減少しました。内訳は、流動負債が前連結会計年度末と比べ3億9千万円減少し40億5千万円となり、固定負債は同じく2億円減少し、14億8千2百万円となりました。

純資産は、84億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億5千6百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期までの業績の状況に加え、今後の国内外の需要見通しや為替の動向等の不透明な要因を勘案した結果、平成28年10月26日に発表した業績予想及び配当予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

上海電科電工材料有限公司は、平成27年1月15日付で解散を決議し、清算手続中でありましたが、平成28年4月14日をもって清算終了となったため、同社を連結の範囲から除外しております。

また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成28年5月31日付でNIPPON TUNGSTEN EUROPE S.r.l. を設立し、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,646	2,591
受取手形及び売掛金	2,877	2,414
電子記録債権	172	278
商品及び製品	233	209
仕掛品	997	901
原材料及び貯蔵品	465	475
繰延税金資産	178	192
その他	369	252
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,939	7,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,783	1,744
機械装置及び運搬具(純額)	979	1,010
工具、器具及び備品(純額)	75	76
土地	289	288
リース資産(純額)	38	46
建設仮勘定	53	25
有形固定資産合計	3,219	3,191
無形固定資産		
投資その他の資産	39	42
投資その他の資産		
投資有価証券	1,436	1,350
賃貸不動産(純額)	1,630	1,602
退職給付に係る資産	443	458
その他	94	94
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	3,578	3,478
固定資産合計	6,837	6,713
資産合計	14,777	14,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,078	892
短期借入金	2,361	2,287
リース債務	37	32
未払法人税等	47	38
賞与引当金	355	269
役員賞与引当金	29	4
その他	532	527
流動負債合計	4,441	4,050
固定負債		
長期借入金	881	603
リース債務	29	33
繰延税金負債	583	654
資産除去債務	25	25
その他	164	166
固定負債合計	1,683	1,482
負債合計	6,124	5,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,509	2,509
資本剰余金	2,229	2,229
利益剰余金	3,727	3,741
自己株式	△358	△358
株主資本合計	8,108	8,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	331	311
為替換算調整勘定	122	△7
退職給付に係る調整累計額	55	35
その他の包括利益累計額合計	510	338
新株予約権	34	36
純資産合計	8,652	8,496
負債純資産合計	14,777	14,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,682	4,850
売上原価	4,509	3,813
売上総利益	1,173	1,036
販売費及び一般管理費	934	811
営業利益	238	225
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	14
持分法による投資利益	28	21
不動産賃貸料	103	107
その他	80	43
営業外収益合計	225	188
営業外費用		
支払利息	20	13
不動産賃貸原価	71	85
為替差損	6	100
その他	43	21
営業外費用合計	141	220
経常利益	323	192
税金等調整前四半期純利益	323	192
法人税、住民税及び事業税	11	18
法人税等調整額	74	75
法人税等合計	86	94
四半期純利益	237	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	237	98

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	237	98
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△20
為替換算調整勘定	3	△14
退職給付に係る調整額	△23	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△77
その他の包括利益合計	△64	△133
四半期包括利益	173	△35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173	△35
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	323	192
減価償却費	241	241
海外事業関連損失引当金の増減額(△は減少)	△8	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	△86
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△24
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△122	△14
受取利息及び受取配当金	△13	△15
支払利息	20	13
持分法による投資損益(△は益)	△28	△21
売上債権の増減額(△は増加)	299	329
たな卸資産の増減額(△は増加)	159	96
仕入債務の増減額(△は減少)	△69	△148
その他	△81	49
小計	666	611
利息及び配当金の受取額	52	55
利息の支払額	△21	△13
法人税等の支払額	△108	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	589	618
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172	△157
有形固定資産の売却による収入	21	-
貸付けによる支出	△4	△4
その他	3	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△158	-
長期借入金の返済による支出	△382	△341
配当金の支払額	△73	△119
その他	△19	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633	△479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△199	△59
現金及び現金同等物の期首残高	2,955	2,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,755	2,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	機械部品事業	電機部品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,295	2,384	5,680	2	5,682	—	5,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	0	21	5	27	△27	—
計	3,316	2,384	5,701	8	5,709	△27	5,682
セグメント利益 又は損失(△)	447	5	453	△2	451	△212	238

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△212百万円は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は当社管理部門の一般管理費(△228万円)であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	機械部品事業	電機部品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,562	2,285	4,848	2	4,850	—	4,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	0	19	5	25	△25	—
計	2,581	2,286	4,867	8	4,875	△25	4,850
セグメント利益 又は損失(△)	276	136	412	△1	410	△185	225

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△185百万円は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は当社管理部門の一般管理費(△202百万円)であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、市場対応型組織への変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「粉末冶金事業」「産業用機器事業」から、「機械部品事業」「電機部品事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。